

KONAN サーティフィケート 2019年度 認定学生

読書習慣を基盤とし、探求心と情報探索力に磨きをかける
上級の認定を目指し、表現する力・企画を実現する力

ライブラリ サーティフィケート



1 級

中 尾 健 人 (文学部) 村 上 一 寿 (理工学部) 藤 澤 舞 (知能情報学部)



2 級

石 川 真 央 (知能情報学部) 波 戸 本 真 優 (文学部) 飯 倉 安 奈 (マネジメント創造学部)
清 水 優 也 (法学部) 紀 本 美 寿 々 (経営学部) 友 江 輝 人 (文学部)
北 村 梨 華 (法学部)



3 級

石 川 悠 稀 (知能情報学部) 赤 峯 侑 弥 (知能情報学部) 浅 井 優 介 (知能情報学部)
岸 村 賢 弥 (知能情報学部) 北 澤 佐 知 子 (知能情報学部) 木 下 步 美 (知能情報学部)
高 橋 怜 (知能情報学部) 平 山 達 也 (知能情報学部) 福 原 汰 門 (知能情報学部)
山 崎 拓 馬 (知能情報学部) 渡 部 耕 平 (知能情報学部) 松 浦 亮 介 (法学部)
畑 田 亜 美 (文学部) 池 田 愛 海 (法学部) 一 本 ち ひ ろ (経営学部)
西 山 叶 子 (マネジメント創造学部)

今年度KONANライブラリサーティフィケートでは、合計114人の学生がエントリーし、26人から認定のための申請を受け付けました。今年度3級・2級・1級の要件を満たした26名の学生たちは、それぞれ授業や就職活動で多忙な中、エントリーしたときから継続的に読書に真摯に取り組んできました。ただ読み捨てるのではなく、読書記録や書評を書くことで、書の知識を取り込みながら書く力も伸ばすことができたのではないかと思います。また、図書館が主催する専門授業や就職活動に役立つガイダンスや様々なボランティアにも参加、積極的な活動を続けてきました。そして、1級の認定学生については、自由な発想で自分のやりたい企画を立案、実現しました。その発想力や企画力、自己実現のための実行力を磨いた学生たちは、大学卒業後もこの経験を活かして活躍してくれるものと信じます。

(図書館)

KONAN サーティフィケート 2019年度 認定学生

国際交流プログラムをとおして、国際的な文化の異なりを理解し、語学
力・コミュニケーション能力、「グローバル人材」としての総合力

グローバル サーティフィケート



1 級

住 吉 沙 絵 (経営学部)



2 級

今 村 洋 子 (文学部)

松 林 悦 子 (文学部)

橋 野 昂 宏 (経済学部)

石 川 つぶら (文学部)

井 上 まどか (文学部)

鬼 頭 明日香 (文学部)

岡 田 瑞 希 (法学部)

毛 戸 凜太朗 (経営学部)

越 智 彩由奈 (法学部)

高 田 明 宏 (法学部)



3 級

齊 木 実千穂 (文学部)

中 嶋 星衣奈 (文学部)

岸 ころろ (文学部)

今年度グローバルサーティフィケートでは、合計152人の学生がエントリーし、14人から認定申請を受け付けました。1級認定者は、本学の語学プラス交換留学制度で1年米国ウィバー州立大学に留学しました。留学前は学内の留学説明会Step1~4に出席し、LanguageLoftも多く利用するなど、事前に計画した入念な準備を経ました。留学中も現地の大学で日本語チューターをする等、積極的に現地大学生との交流を深め、自身の語学力の上達だけでなく、現地学生の日本語学習向上にも尽力しました。また、帰国後も自身の留学経験を活かし、学内の留学報告会やパネルディスカッションで発表したり、IECメンバーとして留学生との交流活動を活性化したりと、留学経験に加え学内での国際活動を経て、幅広い視野と行動力を備えるグローバル人材に成長されました。

2級認定者は、多くの学生が奨励留学やエリアスタディーズなど本学の長期・短期留学プログラムに参加し、現地での交流活動やボランティア、文化施設訪問など多様な国際体験をし、異文化を直に体感することで、視野を広げました。帰国後も語学試験に挑戦し高得点を取るなど語学の向上に励み、学内では、ランゲージパートナーやTomodachiプログラムなど、国際交流センター主催の交流プログラムに積極的に取り組み「グローバル人材」と呼ぶにふさわしい活動を継続されています。

3級認定者は、学内外での交流活動、ボランティア活動に積極的に参加し、海外に視野を向けるようになりました。ジャパNSTAディーズを履修したり、LOFTを積極的に利用したりするなどして、身近な語学学習の機会を自ら設け、海外語学講座やエリアスタディーズ等の短期留学にも参加するなどし、着実に「グローバル人材」としてのステップを積み上げていっています。

(国際交流センター)

KONAN サーティフィケート2019年度 認定学生

意欲的にボランティア・地域連携プロジェクトに取り組み、
卓越した行動力と課題解決力及び企画力

ボランティア サーティフィケート



1 級

廣 友 星 菜 (経営学部) 平 崎 新 (経営学部)



2 級

長谷中 雄 斗 (理工学部) 美 馬 直 (理工学部) 団 野 和 貴 (知能情報学部)
高 田 明 宏 (法学部) 祖 開 彩 (経営学部) 竹 谷 翔 太 (法学部)



3 級

桐 山 知 己 (法学部) 竹 村 茉 希 (法学部) 松 木 温 寛 (マネジメント創造学部)
村 田 沙 耶 (経済学部) 井 口 智 晴 (知能情報学部) 武 田 拓 也 (経済学部)
齋 藤 大 樹 (経営学部) 松 尾 朋 美 (法学部) 寺 口 久美子 (文学部)
谷 奈央美 (文学部) 松 村 拓 海 (知能情報学部) 竹 内 菜 摘 (法学部)
信 藤 海南登 (知能情報学部) 福 山 ひなの (理工学部) 谷 崎 涼 香 (理工学部)

今年度ボランティアサーティフィケートでは、合計416人の学生からエントリーを受け付け、うち23人から認定申請がありました。申請者の報告書には、ボランティア活動を通して良い経験ができたこと、知的障がい者の方と接することで自らの見識が深まったこと、行政の難しさを実感する機会となったこと、災害ボランティアに参加しその現状を伝えることの大切さを学んだことなどが書かれていました。以下、活動例です。

- * 大学コンソーシアムひょうご神戸学生災害ボランティアネットワーク事業 (2019.5.18~9.14)
- * 加古川「知」を結ぶプロジェクト (2019.8.30~2020.2.8)
- * 関西湾岸SDGsチャレンジ2019 (2019.7.14~9.22)
- * 東灘区学生サポーター (2019.4.1~2020.3.31)
- * 子どもサポーター講座 (ひがしなだチャイルドフェスティバル) (2019.7.7~8.31)
- * 明石市立少年自然の家ボランティアリーダー (2018.4.1~2019.8.31)
- * スペシャルオリックス日本・兵庫ボランティア (2019.11.10)
- * コープこうべふれあい秋まつりボランティア (2019.11.11)
- * 本学学生自主企画阪神淡路大震災パネル展 (2020.1.10~1.20) など

(地域連携センター)



KONAN サーティフィケート 2019年度 認定学生

スポーツ・健康に関する知識を深め、自己の健康管理に関する習慣をもつとともに、リーダーシップ、スポーツマネジメント、健康管理等の能力

スポーツ サーティフィケート



2 級

時 任 美保子 (文学部)

鈴 木 夢 (文学部)

永 岡 奎 也 (経営学部)



3 級

竹 内 菜 摘 (法学部)

今年度スポーツサーティフィケートでは、エントリー数合計31人のうち4名が申請がありました。今年度は単位取得が必要要件とされたため、2回生以上にならないと申請ができないこともあり、少ないエントリー及び申請数となりました。一方で、今回の候補者は、基準の移行に伴う要件の変更に対応するため、何度もセンターへ確認に訪れながら取り組みを続けるなど、大変積極的な姿勢でした。今回、認定された学生達は、達成スポーツ、健康スポーツ、レクレーションスポーツをはじめさまざまなスポーツ領域で、真剣にスポーツに取り組みました。また、するスポーツだけでなく、みるスポーツや支えるスポーツにおいても顕著な功績を挙げた学生がいました。次年度以降も真面目にスポーツに取り組む学生を多角的に評価して、その功績を称えていきます。また、学生たちの申請動向に合わせて、授与基準を見直し、より多くの学生が挑戦し、認定されるような仕組みについても検討していきます。

(スポーツ・健康科学教育研究センター)

KONAN サーティフィケート 2019年度 認定学生

様々な学習サポートと自己の能力向上に取り組み、
課題解決力及びリーダーシップを身につける

ラーニングサポート サーティフィケート



1 級

藤 田 誠 也 (経済学部)



3 級

西 村 水 希 (経済学部)

藤 大 之 (知能情報学部)

熊 谷 剛 (経済学部)

濱 田 純 太 (経済学部)

四 村 優 名 (経済学部)

藤 澤 舞 (知能情報学部)

田 原 茉里子 (経済学部)

畑 中 舞 (経済学部)

花 岡 朋 希 (法学部)

前 田 颯 人 (経営学部)

浅 田 孝 行 (経営学部)

今年度新たに創設したラーニングサポートサーティフィケートでは、年間88人の学生がエントリーし、その中から12名の申請を受け付けました。申請した学生が行ってきた主な活動は、①ラーニングアシスタント(LA)として授業における受講生のファシリテーション等の活動、②ライティングサポート(WS)として授業レポートについて一対一で助言をする活動、③入学前教育において入学予定者のグループ活動をサポートする活動等、いずれの活動も「優しさ」や「利他の心」から成る甲南らしい後輩思いの温かい心による活動でした。認定学生は、取り組んできた学習支援活動を通じてサポート能力を実践的に向上する中で、「教えることで学ぶ(Teaching is learning)」として学びが深まり、コミュニケーション能力や能力開発に挑み続ける主体的な活動力、発信力も育まれました。初年度早々に1級を認定された学生は、これまでの4年間多くの学生の学習を支援してきました。その姿を見た後輩が憧れてLAに志願するなど、先輩から後輩への甲南らしい良いサイクルが始まったばかりです。今後、このサイクルが学部学年を超えて更に広がり、ラーニングサポート・サーティフィケート認定学生が増えることが期待されます。

(教育学習支援センター)